

防災関連単元一覧表〔中学校・教科別〕

〈災害や防災を直接的に扱っている単元には★を付し、指導例を掲載した単元は丸ゴシック体で記載した。〉

【(国語)】 I【学よ】 II【考え・動く】 III【実現・貢献】

出版社	学年	単元名()内はページ数	防災学習へのヒント	柱
光村図書	1	情報の集め方を知ろう(60～64)	防災をテーマに実施可能	III
		空を見上げて(73～77)	震災を通じて世界の人々が言葉と心をつなごう。(指導例④)	I III
		調べたことを報告しよう(128～132) 話題や方向を報告して話し合おう(174～178)	防災をテーマに実施可能 防災をテーマに実施可能	III
	2	多様な方法で情報を集めよう(34～38)	防災をテーマに実施可能(指導例⑤)	I II III
		魅力的な提案をしよう(52～55)	防災をテーマに実施可能	III
		話し合って考えを広げよう(166～170) 根拠を明確にして意見を書こう(172～175)	防災をテーマに実施可能 防災をテーマに実施可能	III
		小さな町のラジオ発 臨時災害放送局「りんごラジ オ」(180～186)	災害時に必要な地域情報を正確に伝えるとともに、生の声を通して人々の思いを届ける。(指導例⑥)	I II III
	3	新聞記事を比べる(286～287)	防災を取り上げた記事を教材化する。	I III
		社会との関わりを伝えよう(36～40) 「想いのリレー」に加わろう(58～62)	防災をテーマに実施可能 災害時等における情報発信の意義と注意点を知る。	III
		話し合って提案をまとめよう(168～172) 説得力のある文章を書こう(174～177)	防災をテーマに実施可能 防災をテーマに実施可能	I III

【(社会(地理))】

出版社	学年	単元名()内はページ数	防災学習へのヒント	柱
東京書籍	2	世界の地形(142～143)	日本で地震や火山の噴火が多い理由を考える。	I
		★自然災害と防災への取り組み(152～155)	居住地域で起こりうる災害を挙げ、必要な防災対策を考える。	I
		九州地方の生活の舞台(180～181)	地形と気候の特色を、災害を引き起こす視点にも触れながら説明する。	I
		多様な環境問題と環境保全の取り組み(184～185)	九州地方で砂防ダムの建設や土壌流出の取組が行われている理由を説明する。	I
		近畿地方の生活の舞台(204～205)	高潮や洪水の被害への備えや阪神淡路大震災の教訓について理解する。	I
		東北地方の生活の舞台(240～241)	三陸沖で発生した主な地震にふれながら地形の特色を捉える。	I
		過去からの継承と未来に向けた社会づくり(248)	過去の被災経験を記録に残し、記憶を引き継ぐためにどのようなことが行われているか説明する。	I III
		自然の制約に適応する人々の工夫(256)	火山噴火に備えた効果的な取組の様子を捉える。	I
		身近な地域の調査(264～281)	防災をテーマに実施可能(指導例⑦)	I III
		世界と日本の地震・火山災害(140～141)	日本で地震や火山被害が多く発生する理由を考える。	I
日本文教	2	世界と日本の気象災害(142～143)	気象災害について被害の特徴と発生しやすい地域をまとめる。	I
		★災害にそなえるために(144～145)	減災につながる防災対策の活用法を考える。	I
		★東日本大震災からの復興をめざしてー阪神淡路大震災の経験を生かしてー(146～147)	震災のあらましと被災地の現状を概観する。	I III
		★せまりくる巨大地震(148～149)	南海トラフ巨大地震に備えた取組を概観する。	I
		原子力発電所の事故と再生可能エネルギー(156～157)	福島第一原発の事故の影響や日本が直面する電力問題を概観する。	I
		九州地方の自然環境(170～171)	風水害の多い気候の特色や対策の実態を捉える。	I
		交通網の発達による人の動きの変化(191)	巨大地震に備える過疎地域の課題を捉える。	I
		近畿地方の自然環境(194～195)	台風による風水害を受けやすい地理的特徴を捉える。	I
		中部地方の自然環境(206～207)	洪水被害を受けやすい地域の伝統的な対策を捉える。	I
		東京大都市圏の人々の結びつき(225)	水害被害を受けてきた地域の治水工事の成果と課題を捉える。	I
東北地方の自然環境(230～231)	過去の災害状況を踏まえた防災対策の必要性を捉える。	I		
東北地方の人口、産業と震災の影響(232～233)	震災からの復興に貢献している祭りの存在を知る。	I III		

	生活・文化からみたら東北地方の農業・工業(237)	震災による世界経済や他地域への影響を捉える。	I
	自然環境を生かした人々の生活(247)	雪害や利雪・落雪という観点から雪と共に生きる人々の生活を捉える。	I III
	火山と地域との共生(252)	防災と併せて自然が地域にもたらす恵みについて考える。	I III

【社会(歴史)】

出版社	学年	単元名()内はページ数	防災学習へのヒント	柱
東京書籍	1	歴史学習の初めに(1)	過去の被災経験や教訓が言い伝えや石碑などの形で残されていることを知る。	I
	2	歴史にアクセス「関東大震災」(211) 持続可能な社会に向けて(262~263) 町の歴史から将来を考える(264~267) 歴史の中の大震災(270~271) 先人に学ぶ「信玄堤」(91)	関東大震災の概要を捉える。 防災対策を含め、持続可能な社会の実現に向けた課題について考える。 福島県いわき市の事例を参考に、身近な地域の将来像について考える。 日本が多くなる大震災を乗り越えてきた歴史をもつことを理解する。 今に伝わる戦国時代の治水事業の様子を捉える。	I III I III I III I III
日本文教	1	都市化の進展と大衆文化(218~219)	関東大震災の様子について理解する。	I
	2	先進国日本の課題(269) ★災害の歴史に学び、私たちの未来に活かす(274~275)	阪神淡路大震災と東日本大震災の発生について理解する。 災害の備えを過去から考えるとともに震災の教訓を今後に伝えることの意義を捉える。	I I III

【社会(公民)】

出版社	学年	単元名()内はページ数	防災学習へのヒント	柱
東京書籍	3	現代社会と私たちの生活・導入(5) ★持続可能な社会に向けて(14~15) 伝統文化の継承と私たち(23) ★東日本大震災からの復興と防災(112~113)	防災学習のために自分たちができることを考える。 東日本大震災を振り返ることで持続可能な社会の実現に向けた課題を考える。 復興への願いを地域芸能に託す様子を捉える。 震災から復興し、持続可能な社会を実現するために取組を進める地方公共団体の状況を捉える。	I III I I III I III
	3	持続可能な社会(10~11)	持続可能な社会を実現するために自然とどのように向き合い、共生できるのかを考える。	I
	3	受けつぎ、創造する日本の文化(18~19) 地方公共団体の仕事としくみ(88~89) ★大災害に強いくらしをきづく(104~105) 未来の地球をもとに考える(200~201) ★私たちの課題「災害にそなえるには」(211)	東日本大震災のときにみられた日本人の国民性にふれる。 市民を災害から守ることを基本理念とした条例の制定例を捉える。 災害発生時における自助・共助・公助の意義について考える。 日本の国際的な防災協力の在り方を捉える。 防災をテーマに実施可能	I III I I I III I III

【社会(地図)】

出版社	学年	単元名()内はページ数	防災学習へのヒント	柱
帝国書院	2	近畿地方(93) 中部地方(112) ★東北地方(128) ★日本の災害と防災(143~144) 九州地方(82)	神戸市付近の様子、災害に備えた学校 洪水への備え、濃尾平野の輪中地帯 震災からの復興の様子、岩手県宮古市 地震と火山の分布、気象による災害、地形図と防災マップ等 台風や土砂災害の被害を受けやすい地域	I I I I I
	2	★東北地方(118) ★日本の自然環境(135~136)	東日本大震災による被害 火山と地震の分布、主な気象災害、東日本大震災の地震と津波	I I

【数学】

出版社	学年	単元名()内はページ数	防災学習へのヒント	柱
啓林館	1	正の数・負の数(13) 琵琶湖の水位(53) 比例のグラフ(116~119) ★緊急地震速報(MathNaviブック20~21) ★資料から防災を考える(MathNaviブック32~33) ★雷さまはどこ?(60)	防災学習へのヒント 弥富駅の標高から、浸水被害の恐れについて触れる。 琵琶湖の水位変化から大雨の危険性について触れる。 震源からの距離とP波、S波の到達時刻やそれをグラフにすることで、いろいろな情報を読み取ることができる。【活用例⑩⑪】 徒歩での避難と車での避難の資料から、その読み取る視点を学ぶ。 雷と音速との関係から、落雷から逃げることの重要性を知る。	I I I II I I
	1			
	2			

【音楽（一般）】

出版社	学年	単元名()内はページ数	防災学習へのヒント	柱
教育出版	1	夢の翼(8～9)	未来に向かってみんなと飛び立つ気持ちを育てる。	III
		夏の思い出(16～19)	自然の美しさ、季節を感じる。歌詞の意味を知り情景を思い浮かべる。	III
		四月のいのちの歌(30～31)	人と人との出会いとつながりを大切にすることを育てる。	III
		日本の民謡と芸能(40～41)	地域に大切に伝えられている郷土音楽を調べ、郷土を愛する気持ちを育てる。	I III
		明日への勇氣(66～67)	人に対するやさしさや、互いに助け合う心の大切さを育てる。	III
		君と歩こう(68～69)	人とのつながりの大切さ、思いやりの気持ちを育てる。	III
		心をこめて(74～75)	人に対するやさしさや、互いに助け合う心の大切さを育てる。	III
		明日を信じて(76～77)	人と人とのつながりを大切にすることを育てる。	III
		さようなら(79)	人とのつながりを大切にすることを育てる。	III
		故郷(80～81)	ふるさとの自然やともに暮らした人々を大切に思う気持ちを味わう。	I III
		生命が羽ばたくとき(4～5)	未来に向かって共に羽ばたく気持ちを育てる。	III
		語りあおう(6～7)	互いに励まし合う気持ちを育てる。	III
		そよぐ風の中で(10～11)	人と人とのつながりを大切にすることを育てる。	III
		音楽「絵天楽」(33)	日本の伝統音楽を大切に思う気持ちを育てる。	I III
		歌舞伎「勧進帳」(34～35)	日本の伝統音楽を大切に思う気持ちを育てる。	I
大切なもの(66～67)	かけがえのない仲間を大切にすることを育てる。	III		
花(6～9)	自然の美しさ、季節を感じる。歌詞の意味を知り情景を思い浮かべる。	III		
旅立ちの日に(22～23)	人と人とのつながりを大切にすることを育てる。	III		
たしかな一歩(66～67)	未来に向かって力強く進んでいく気持ちを育てる。	III		
地球の息吹につつまれて(72～73)	自然の美しさ、未来に向かって進んでいく気持ちを育てる。	III		
故郷(80～81)	ふるさとの自然やともに暮らした人々を大切に思う気持ちを味わう。	I III		
未来に向けて歩きはじめの気持ちを育てる。	未来に向けて歩きはじめの気持ちを育てる。	III		
未来に向けて飛び出す気持ちを育てる。	未来に向けて飛び出す気持ちを育てる。	III		
飛び出そう未来へ(22～23)	日本の伝統音楽を大切に思う気持ちを育てる。	I III		
箏曲・尺八曲・日本の民謡(40～45)	ふるさとの自然やともに暮らした人々を大切に思う気持ちを味わう。	III		
ふるさと(56～57)	人と人とのつながりを大切にすることを育てる。	III		
いつか(59)	人と人とのつながりを大切にすることを育てる。	III		
夢を追いかけて(66～67)	人とのつながりを大切に未来に進んでいく気持ちを育てる。	III		
あすという日が(70～71)	未来に向けて歩きはじめの気持ちを育てる。	III		
夢の世界を(4～5)	人とのつながりを大切に し、未来に向けて歩きはじめの気持ちを育てる。	III		
夏の思い出(12～13)	自然の美しさ、自然を大切にすることを育てる。	III		
夏の日の贈りもの(14～16)	自然の美しさ、自然を大切にすることを育てる。	III		
歌舞伎・文楽・郷土の芸能(42～51)	日本の伝統音楽を大切に思う気持ちを育てる。	I III		
夏は来ぬ(56～57)	自然の美しさ、自然を大切にすることを育てる。	III		
ふるさと(58～59)	ふるさとの自然やともに暮らした人々を大切に思う気持ちを味わう。	I III		
今この時(60～61)	未来に向けて進んでいく気持ちを育てる。	III		
さくら草(62～63)	未来に向けて飛び立つ気持ちを育てる。	III		
今日は君の Birthday(68～69)	人とのつながりの大切さ、思いやりの気持ちを育てる。	III		
大切なもの(70～71)	かけがえのない仲間を大切にすることを育てる。	III		
花(4～7)	自然の美しさ、季節を感じる。歌詞の意味を知り情景を思い浮かべる。	III		
きみとともに(20～21)	人と人とのつながりを大切にすることを育てる。	III		
雅楽、能(36～43)	日本の伝統音楽を大切に思う気持ちを育てる。	I III		
ふるさと(54～55)	ふるさとの自然やともに暮らした人々を大切に思う気持ちを味わう。	I III		
いつまでも(58～60)	ふるさとの自然やともに暮らした人々を大切に思う気持ちを味わう。	III		
旅立ちの日に(64～65)	人と人とのつながりを大切に生きている気持ちを育てる。	III		

【美術】			
出版社	学年	単元名()内はページ数	防災学習へのヒント
日本文芸	2	デザインや工芸など(38)	ピクトグラムを用いて防災について考えよう。
光村図書	1	絵や彫刻など(22~28)	風神、雷神像の印象を話し合ってみよう。
	2	デザインや工芸など(54)	凶記号やマークなどで防災について考えよう。
【保健体育】			
出版社	学年	単元名()内はページ数	防災学習へのヒント
大日本図書		安全な運動やスポーツの行い方(25)	野外活動に潜む危険性を踏まえ、安全な実施方法を考える。
		傷害の発生要因と防止(86~87)	人的要因及び環境要因の両面から安全対策を考える。
		★自然災害による傷害の防止(94~99)	自然災害への備えや身を守る安全行動等について考える。【指導例①】
		応急手当の基本(100~101)	適切な救命救急措置について学ぶ。
		心肺蘇生(102~103)	正しい心肺蘇生法を学ぶ。
		出血があるときの応急手当(104~105)	止血法や包帯の巻き方等を学ぶ。
		外傷の応急手当(106~107)	日常生活で起こるけがの対処法を学ぶ。
【技術分野】			
出版社	学年	単元名()内はページ数	防災学習へのヒント
東京書籍		製作品を丈夫にする方法を知ろう(36~37)	製作品を丈夫にする方法を学び建物の耐震について考える。【指導例②】
		材料と加工に関する技術と社会との関わり(87)	安全を重視した技術やものづくりについて考える。
		★防災ライト(130~131)	防災ライトを製作しよう。
		エネルギー変換の技術と社会との関わり(143)	安定的にエネルギーを供給する技術開発について考える。
		★防災手帳(巻末)	技術・家庭科の視点から防災について考える。
		構造の工夫(36)	製作品を丈夫にする工夫から建物の耐震について考える。
		★災害時に活躍する情報に関する技術(243)	東日本大震災の事例から、情報に関する技術について考える。
【家庭分野】			
出版社	学年	単元名()内はページ数	防災学習へのヒント
東京書籍		食品の保存と食中毒の防止について考えよう(48~49)	レトルト食品のほか、様々な食品が非常食になりうることを学ぶ。【指導例③】
		日本各地の住まいの例(133)	台風被害を防ぐための沖縄県の住居について知る。
		★火災対策(137)	火災対策として住宅用火災警報器設置義務について知る。
		★災害に備えた住まい方について考えよう(138~141)	防災対策としてできることを様々な視点で考える。
		よりよい住生活を目指して(146)	地域の防災訓練について触れる。
		★防災リュック(167)	防災リュックを製作する。
		家庭生活と地域との関わりを考えよう(180~181)	地域における「共助」について考える。
		★防災マニュアル作り(259)	家庭における防災マニュアルを作ってみる。
		わたしたちの家庭生活と地域(18~19)	地域における「共助」について考える。
		幼児の心身の発達と家族の役割(28)	避難時に幼児がいる家族に必要なものを考える。
		ふれ合い体験の前に(43)	災害時の緊急対応について確認しておくことに触れる。
		これからのわたしと家族との関係(53)	東日本大震災被災者の手記を読んで考える。
		★災害にあった時の食事は？(140)	ライフラインが止まった時の食事について考える。
		★災害への備え、災害時の住まいと暮らし(158~161)	防災について様々な視点から考える。
		★防災リュック(203)	防災リュックを製作する。
		★安全と防災(268~270)	家庭、地域における防災対策について考える。
【英語】			
出版社	学年	単元名()内はページ数	防災学習へのヒント
東京書籍	2	Universal Design(68~77) Cooking with the sun(118~121)	ユニバーサルデザインの実態と意義について学ぶ。 太陽光調理器の利点について学ぶ。
	3	★To Our Future Generations(58~66)	災害への備えと未来に伝える大切さを学ぶ。【指導例④】